



アンネのパラ

# 吉高人権だより

2021年 4月号

愛媛県立吉田高等学校 人権委員会発行

日本一静かなカフェ

地歴・公民科 成田 淳

JR国立駅にあるスターバックスのnonowa国立店は「日本一静かなカフェ」と呼ばれています。店に入っても店員さんの「いらっしゃいませ」という声は聞こえてきません。なぜなら、この店は聴覚に障がいがあるスタッフで運営されている店だからです。店に入ったお客さんは、ジェスチャーや指さしで注文できるメニューボード、筆談などを使って商品を注文していきます。中には店員さんに手話を教えてもらって注文する人もいます。

この店がオープンしたのはスタッフのリーダーである大塚絵梨さんの熱意からでした。大塚さんはろう学校を卒業後、学校から紹介された企業で事務職として働いていました。しかし、本当は接客業に就くことを希望していた大塚さんは、聴覚に障がいがある人に接客は無理だという周囲の声に逆らって接客業に就くチャンスを探していました。そこで、スターバックスが「誰もが受け入れられ、尊重され、認められる、思いやりと共生の文化を創造すること」を企業理念としてグローバル人権宣言に掲げていることに感銘してアルバイトに応募し、聴覚に障がいがあっても接客ができると証明するために努力を続け、2年後に正社員になりました。そして、聴覚に障がいがあるスタッフで運営する店舗の実現を会社に熱望し、会社も企業理念に合致すると賛成して仲間たちと努力を重ねた後、2020年の6月に開店にこぎ着けたのでした。こうして現在では、聴覚に障害のある人たちの新たな挑戦の場として仲間たちと店舗を運営しています。

さて、多くの聴覚に障がいのある人たちに接客業をあきらめさせているのは耳が聞こえないという身体的な障がいなのでしょうか。この店の例から考えてみると、聴覚に障がいがある人に接客は無理だという社会の思い込みが「障がい」となっていることがわかります。つまり、障がいがない人を前提とした社会のあり方が「障がい」を作り出しています。これを障がいの社会モデルといいます。その社会を作っているのは、私たち一人一人です。障がい者に限らず、「誰もが受け入れられ、尊重され、認められる」ような社会を作っていくのためにも、身の回りのことから人権意識を高めて学校生活を送っていききたいものです。

## 人権委員紹介

今年度の人権委員です。よろしくお願いします。



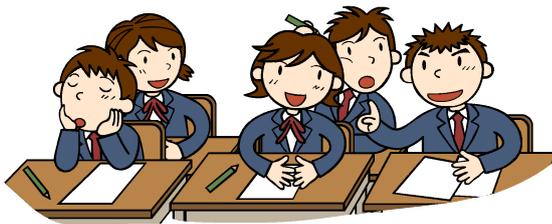
|       |       |       |            |       |              |
|-------|-------|-------|------------|-------|--------------|
| 1 G 1 | 有友 里  | 1 G 2 | 藤井 幸菜      | 1 M   | 西山 弘倫        |
| 1 E   | 宮本 怜  | 2 G 1 | 若藤 文萌      | 2 G 2 | 清家 光輝        |
| 2 M   | 佐々木健成 | 2 E   | 林 竜生       | 3 G   | 上田 涼大 (副委員長) |
| 3 M   | 石川 晴貴 | 3 E   | 巴 郁人 (委員長) |       |              |

### 副委員長から

今年、人権委員会の副委員長を務めることになりました3 Gの上田涼大です。最近  
は新型コロナウイルスの問題が更に深刻になっていますが、それ以外の人権問題もた  
くさんあります。そういうことが吉田高校で起こらないよう、人権委員としてがんば  
っていきたいと思います。1年間よろしくお願いします。

### 委員長から

みなさん、こんにちは。今年度の人権委員会の委員長を務めることになりました3  
Eの巴郁人です。今年度の目標は、「人権意識を高め、差別をしないようにしよう。」  
です。委員長として、みなさんの学校生活が豊かなものになるように委員会活動を行  
っていきたいです。短い間ではありますが、1年間よろしくお願いします。



吉高人権だよりは吉田高校HPからもダウンロ  
ードして読むことができます。

ご意見・ご感想をお聞かせください。